

平成30年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	財政局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	財産経営課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2255
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	低排出ガス・低公害車・省エネルギー車公用車導入事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	環境基本計画に基づき、市域における温室効果ガスの排出を抑制し、環境負荷の低減を図るため、本市が定める車両更新基準による公用自動車の更新に際しては、積極的に低排出ガス車を選定し、環境性能に優れた車両の導入を図る。		
3年度概要	公用自動車の更新に際しては、低排出ガス車の導入を優先して検討する。また、車両の導入に当たっては各省庁の補助金などが受けられるものは購入、その他の場合はリース契約にて初期投資を抑えて経費の平準化を図る。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象(何を)	公用自動車(病院局・消防局・下水道部を除く)
意図(どのような状態にしたいか)	更新を迎える車両については、用途を考慮する中で普通車から軽自動車への変更等を検討するとともに、低公害車等への切り替えを行う。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
低公害車等導入台数	台	14	8	23		15

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
低公害車等占有率	%	目標値	52	53	55	55	55
		実績値	50.77	51.64	52.74		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 平成30年度については緊縮財政の影響下ではあったが、低公害車の導入台数は23台であった。低公害車等占有率については概ね目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 95.9% 33点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	5,018	5,492	10,012	4,153
(事業費)	[円]	2,663	3,216	7,743	1,884
(職員人件費)	[円]	2,355	2,276	2,269	2,269

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

活動指標・成果指標共に数値を上げることが出来た。しかし、財政的に厳しい状況にあることは変わらず低公害車の占有率をさらに上げることが望ましいが厳しい状況である。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

財政的に厳しい状況において、購入補助金の対象とならない車両については、リースによる経費の削減・平準化を行う中で、低公害車の導入を図っていく。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	環境保全推進課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-839-2393
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	再生可能エネルギー普及促進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	太陽光発電システム等及び太陽熱利用システムの普及を促進する。平成24年度、国の固定価格買取制度が開始されたことから、事業所用及び10キロワット以上の住宅用システムについては対象外とした。また、システム設置単価が速減等していることから給電補助額を見直した。26年度から新たに太陽光発電システムと定置用リチウムイオン蓄電システム、または電気自動車充電設備を、同時に新規で併設する場合、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備に対しても補助することとした。				
3年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	6-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


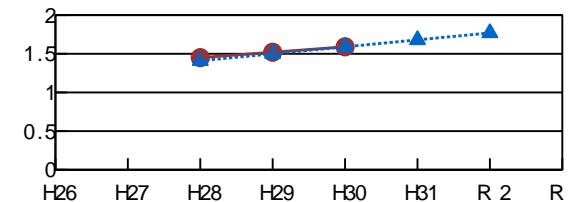

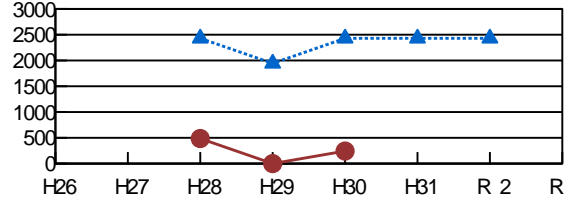
【事業の目的】

対象(何を)	太陽光発電システム及び太陽熱利用システム未設置の住宅
意図(どのような状態にしたいか)	太陽光発電システム等の設置により、クリーンな太陽エネルギーを活用した発電を促進する。 太陽熱利用システムの設置により、温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
太陽光発電システム設置費補助件数	件	557	408	384	442	8,554
太陽熱利用システム設置費補助件数	件	2	0	1	10	30

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
総電力消費量に占める太陽光発電補助による発電量の割合	%	目標値	1.41	1.5	1.59	1.68	1.77
		実績値	1.45	1.52	1.59		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 太陽光発電システム設置件数は減少してきているものの、総電力消費量に占める太陽光発電補助による発電量の割合は増えており、再生可能エネルギーにおける太陽光発電量が増加している。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
太陽熱利用システム年間二酸化炭素削減量	KG	目標値	2,430	1,944	2,430	2,430	7,290
		実績値	486	0	243		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 太陽熱利用システム設置補助件数は、毎年10件(二酸化炭素削減量 2,430kg)を見込んでいたが、30年度は1件と達成できていない。 		(目標達成度)					(達成度) 10.0% 3点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	49,897	37,041	38,173	39,706
(事業費)	[円]	46,757	34,006	34,392	32,144
(職員人件費)	[円]	3,140	3,035	3,781	7,562

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

地球温暖化防止についての市民意識が高まっている中、引き続き、太陽光発電システム等の設置を促進していくとともに、固定価格買取制度や設置コストの状況には十分注視し、適切な制度運用を行っていく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

我が国のエネルギーの現状と本市の地域特性を勘案すると、引き続き太陽光発電システム等の設置を促進していく必要がある。なお、太陽光発電システム等設置費補助事業を31年度から地球温暖化対策室に移管し、再生可能エネルギー普及促進事業をより効果的に推進することとしている。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	下水道施設課
	施策	地球温暖化対策の推進		電話番号	087-842-5421
	基本事業	再生可能エネルギーの利用促進		事業実施主体	市
	事務事業	(企業会計) 東部下水処理場バイオマス発電事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	東部下水処理場において、下水汚泥の処理過程で発生する消化ガスを燃料として発電を行い、民間電力事業者に売却することで、資源・エネルギーの有効利用及び健全で持続可能な事業経営に寄与する。		
3年度概要	消化ガス発電の運転維持管理		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理

【事業の目的】

対象(何を)	バイオマス発電設備
意図(どのような状態にしたいか)	売電収入を得る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
売電量	kWh	1,889,452	2,063,698	2,087,799	1,611,400	1,611,400

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
売電収入(税抜)	円	目標値	62,844,600	62,844,600	62,844,600	62,844,600	62,844,600
		実績値	73,688,628	80,484,222	81,424,161		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 適切な運転管理により、目標値を上回る売電収入を得ることができた。 (目標達成度)							(達成度) 129.6%
							35点
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	13,612	13,143	22,743	14,883
(事業費)	[円]	9,611	9,161	18,779	10,919
(職員人件費)	[円]	4,001	3,982	3,964	3,964

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 目標を上回る発電を行っているが、今後も適切な維持管理により、安定的な発電を継続していく。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 今後も適切な維持管理を行い、資源の有効利用と安定的な収入を得る。			